

日本“伝統文化”から考える 異文化間コミュニケーション

訪日外国人観光客が過去最多を更新し、東京オリンピックが2年後にせまるなか、日本文化を改めて意識した人も多いのではないのでしょうか。2016年リオ五輪閉会式トーキョー・ショーやパラリンピック閉会式では、日本の伝統芸能とポップカルチャー、最新技術が融合したパフォーマンスが世界に発信されました。

日本の「伝統」は各国の現代人にどのように理解されているのか—ヨコタ教授が、能からJ-POPまで多様なジャンルに潜む神話やシンボル、メタファーに着目し、「伝統」について考える新たな視座を与えてくれます。

2018年

日時：10月6日(土)

10:30~12:30

講師：ヨコタ ジェリーさん

(大阪大学大学院言語文化研究科 教授)



【講師略歴】

プリンストン大学にて文学博士取得。大阪大学言語文化部助教授を経て、2002年より現職。「伝統とは何か」を中心に、伝統芸能およびポピュラー・カルチャーが異文化交流のメディアとしてどのような機能を果たしているかを、日本文学の原作と英訳のコーパス分析を行いつつ、認知言語学の観点から研究している。著書に『The Formation of the Canon of Nō』(1997年、大阪大学出版会)、編訳に『Gender and Japanese History』(上・下2巻、1999年、大阪大学出版会)など。米国立美術館で開催された能公演にも携わり、新作能の研究も行っている。

■会場：とよなか国際交流センター

阪急豊中駅直結「エトレ豊中」6F

(大阪府豊中市玉井町1-1-1-601)

■参加費：無料

■定員：一般 20人(要申込、先着順)

※この講座は「日本語ボランティア養成講座」の第3回目として実施されますが、公開講座のため、関心のある方はどなたでもお越しいただけます。

■主催：とよなか国際交流センター

■申込・問合せ先：

公益財団法人とよなか国際交流協会(指定管理者)

TEL 06-6843-4343/FAX 06-6843-4375

E-mail atoms@a.zaq.jp (水曜休館)